

蔵出しお宝ニュース

— 第 22 号 —

三原市歴史民俗資料館では、所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。本紙では、資料館内で長らく眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と行事の案内・紹介などを随時行って参ります。

第2回 私たちのやっさ踊り展 開催

平成25年8月1日（木）から8月23日（金）まで、三原駅前のペアシティ三原西館2階・市民ギャラリー ギャラリー1で「第2回 私たちのやっさ踊り展」を開催いたします。この度は昨年度開催したやっさ踊り展以降に発見された、山陽新幹線三原開通を記念して作られたやっさ踊りのレコードや、今から33年前の昭和55（1980）年に開催された第5回三原やっさ祭りの映像、三原市と親善都市交流を行っている神奈川県湯河原町の湯河原やっさ関係の資料なども新たに展示いたします。

また、8月4日（日）には午後2時よりギャラリー1の前にあります多目的ホールにて小・中学生を参加対象とした「やっさ踊り唄発表会」を開催いたします。申込用紙は文化観光課・中央図書館・当資料館などの公共施設に備え付けております。7月19日（金）までに文化観光課へお申し込みください。唄自慢の小・中学生のみなさん、奮ってご参加ください！



唄発表会のアトラクションとして午後3時より、三原やっさ踊り振興協議会の有志により昔風やっさ踊りの特別披露、昭和11（1933）年に三原町から三原市になったことを記念して製作された伝説のご当地ソング『三原おとめ』を数十年の時を経て演奏していただきます。どうぞお楽しみに！

（写真）

三原やっさ踊り振興協議会の有志による“昔風やっさ踊り”

資料館マメ知識 三原名物やっさ踊り

やっさ踊りは永禄 10 (1567) 年、戦国時代の智将・小早川隆景が三原城を築いた際に、その完成を祝って、老若男女を問わず太鼓や笛を打ち鳴らし、祝い酒に酔って思い思いの唄を口ずさみながら踊ったのが始まりと言われていますが、踊りの起源は、鎌倉時代の踊り念仏までさかのぼるようです。

やっさ踊りが全盛を極めたのは明治の頃で、料亭で揃いの^{ひとえ}単の着物に着替え、芸者衆と踊って出る旦那衆の会や、浴衣を絡げて思い思いに踊る同好会等、風情はさまざまでした。極めてゆっくりとした調子で踊り歩き、旦那衆の会と一般の会がすれ違う時には「衣装にゃ負けても踊りにゃ負けな、ええこたあいんでせえ」と一般の会が合いの手を入れたものです。

やっさ踊りは昭和 31 (1956) 年に公開された、森繁久彌主演で三原が舞台となった映画「鬼の居ぬ間」への出演、昭和 45 (1970) 年の大阪万国博覧会参加、昭和 50 (1975) 年のアメリカ建国 200 年祭に日本民俗芸能の代表として訪米等で全国的に注目を集めました。古くは自由奔放に踊っていましたが、万博出演を機会に踊りの基本を定め、^{じかた}地方演奏のテンポも少し速くなりました。



館町やっさ会が三原駅前を踊る古写真
昭和 40 (1965) 年撮影 (個人蔵)

第 2 回 私たちのやっさ踊り展

会期：平成 25 年 8 月 1 日 (木) ～ 8 月 23 日 (金)

時間：午前 10 時～午後 6 時

ただし 9 日 (金) ～ 11 日 (日) は午後 5 時まで

会場：三原市民ギャラリー ギャラリー 1

三原市城町一丁目 2 番 1 号

(ペアシティ三原西館 2 階)

問い合わせ：三原市経済部文化観光課

TEL0848-67-6014 FAX0848-64-4103

踊り方は他の盆踊りと異なり、自由奔放であることに最大の魅力があります。だが、長年踊られるうちに自然とできたやっさ踊り独特の型があります。ナンバと呼ばれる右足が出れば右手が出、左足が出れば左手が出るという、江戸時代以前の所作が残っています。また、身振り手振りだけではなく、全身を使った踊りです。大阪万博出演以降は「足は二段跳ね・手は招き手・体は左右に・笑顔」の 4 点をやっさ踊りの基本としました。

地方演奏も同様で、各会や地区ごとに歌詞が幾分異なり、演奏する際の拍の取り方も人それぞれでした。歌詞は分かっているだけでも 80 番以上あり、中には野口雨情の作詞のものもあります。唄の間に「誰やなそうな、おとなしやごめんよ」「サ、お次の番だよ」「出そうで出んのが石原竹の子」「ヤレダセ ソリヤダセ」というような囃子もかつては入れられていました。歌詞は三原の情景や名物等を取り上げた内容で書かれています。具体的な歌詞については第 2 回私たちのやっさ踊り展の会場でご紹介いたします。

発行 平成 25 (2013) 年 7 月 12 日

〒723-0015 三原市円一町二丁目 3 番 2 号

三原市歴史民俗資料館

TEL 0848-62-5595

※本冊子に掲載の写真などは、許可なく転用なされないようお願い申し上げます。